

令和3年度

まちの予算

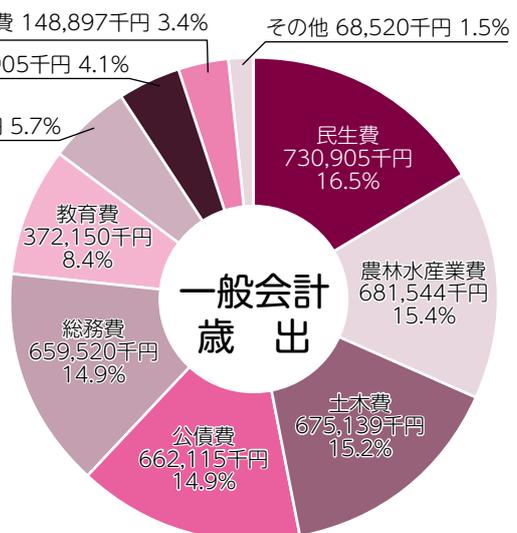
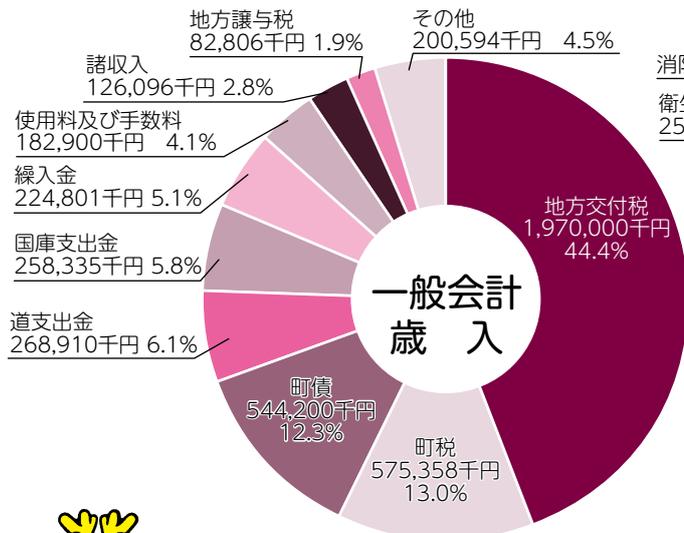
予算総額 **56億9,612万0千円**
 一般会計 **44億3,400万0千円**



令和3年度幌延町各会計の予算総額は、約**56億9,600万円**です。公共施設の長寿命化対策など、今後の中長期的な歳出見込みを踏まえ、町財政の健全性を考慮しつつ、「人」、「しごと」、「まち」づくりを推進するべく編成を行いました。

特に、第6次総合計画の重点戦略となる、**まち・ひと・しごと創生総合戦略**については、人口減少対策の推進や今後の集落機能維持に向けた総合的な対策に財源の重点配分を行い、事業費で約2億4,600万円の予算を計上しています。

継続事業の点検や見直しを行い、投資的経費については事業を絞り込み、**産業の振興とくらしの安全安心、子育て・教育環境の充実**に重きを置くとともに、社会資本の長寿命化にも配慮した予算編成となっています。



まち・ひと・しごと創生総合戦略事業では、基幹産業である酪農業の振興のため、生産施設および機械設備の整備に対する補助を行い、施設の規模拡大による生産基盤の強化と近代化施設の整備による労働負担の軽減を図るため、酪農・肉用牛増産近代化施設整備事業を実施する他、商工業者の経営力向上や事業継続、従業員の確保・育成に係る取り組みを支援します。

また、生まれ育った地域や集落で安心して暮らし続けることができるよう、集落生活圏の機能維持対策に向けて、地域おこし協力隊や集落支援員制度を活用し、住民へのヒアリング調査などにより把握した課題について整理検証を進め、地域の未来像について具体化を図るとともに、喫緊の課題に対するサービス提供を試行し、支援を提供する拠点となる集落支援センター構築に向け、地域住民等による運営組織の形成を目的に人材育成や体制づくりを進めます。

令和2年度の予算総額と比較すると約6億500万円の減額となっていますが、その主な要因は長期債償還元金の大幅な減少に加え、こぞくら荘ボイラー設備改修支援やグループホーム建設支援、町道問寒中間寒線改良事業、紙おむつ燃料化施設建設など大型事業の完了による減額です。また、本年度から問寒別地区草地畜産基盤整備事業を実施し、草地造成や草地改良、暗渠排水の整備を進める他、北留萌消防組合幌延支署で高規格救急自動車の更新や、インフルエンザ予防接種費用の助成範囲拡充を実施します。

なお、詳細については「わが町の家計」の発行を予定していますので、今回は概要のみ掲載します。

令和3年度 幌延町各会計予算

(単位:千円)

会計名	予算額
一般会計	4,434,000
特別会計	1,262,120
国民健康保険	335,256
国民健康保険診療所	366,859
後期高齢者医療	46,744
介護保険	240,000
簡易水道事業	77,160
下水道事業	196,101
合計	5,696,120

